

令和5年度

愛知県ユネスコスクール

指導者研修会

報告書



令和6年3月

愛知教育大学

目 次

はじめに	I
1. 研修会 次第	II
2. 実践発表 資料	
・ 三重県名張市立薦原小学校 「地域とともに持続可能な「ありがとう」の学校をめざして」	中矢 佳代 氏…… 1
・ 京都府京都市立安朱小学校 「SDGs 学習の取組」	服部 真美 氏・松宮 紘平 氏…… 9
・ 愛知教育大学附属岡崎中学校 「本校の ESD（持続可能な開発のための教育）活動－各教科の授業実践から－」	佐藤 裕一 氏……16
・ 学校法人誠心学園 浜松開誠館中学校・高等学校 「実践事例発表」	伊藤 亮 氏……20
・ 愛知教育大学附属特別支援学校 「特別支援学校が取り組む SDGs を取り入れた ESD」	好田 元希 氏……24

はじめに

令和5年度の「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」を開催しました。

本研修会は、ユネスコスクール加盟校による実践活動報告やESD（持続可能な開発のための教育）関係者による講演、意見交流などを通じて、愛知県内外のユネスコスクール間の交流を図り、学校相互の連携構築を支援するとともに、未加盟校がESD活動に取り組むきっかけとなることを目的として開催してきました。

ESDについては、新学習指導要領の前文にも記載されたように、幼稚園から高校までのすべての学校教育で行うべきものとして、勧められているものであり、文部科学省もESD for 2030の活動に代表されるようにSDGs達成のために、ますますESDを積極的に取り入れていくことをうたっています。その中核となるのがユネスコスクールであり、ユネスコスクールにおける活動を広く共有し、より教育を豊かにすることが期待されています。

全国一のユネスコスクールを抱える愛知県のESD教育を展開するため、愛知県教育委員会と連携し、愛知県教育委員会主催の「ユネスコスクール交流会」と本学主催の「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」を同日に開催することで、より多くの情報交換や実践事例の発表を行うようにと企画して参りました。

本年度は、ESD教育のさらなる普及をねらい、愛知県教育委員会主催の「ESD研修会」と共同して開催の運びとなりました。

研修会では、愛知県以外から三重県や静岡県、京都府の先生方、本学附属学校教員を講師としてお招きし、実践事例を紹介いただきました。本書では、その発表内容を報告書としてまとめました。発表いただきました実践校の先生方、関心を持って参加いただいた教育関係者の皆様の日頃からのご努力とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。県内外の皆様に広く活用していただき、今後の取組に少しでも役立てていただければなによりでございます。

2023年12月吉日

愛知教育大学

地域連携センター長 大鹿聖公

愛知県ユネスコスクール指導者研修会 次第

1. 日 時 令和5年8月21日(月) 10:00~12:00

2. 会 場 愛知県生涯学習推進センター 研修室A

3. 日 程 全体司会 愛知教育大学 地域連携課長 古田 紀子

10:00~10:10 開会行事

主催者挨拶 愛知教育大学 連携・附属学校担当理事

杉浦 慶一郎

10:10~11:10 ユネスコスクール実践事例発表 (各12分)(敬称略)

・三重県名張市立薦原小学校

中矢 佳代

・京都府京都市立安朱小学校

服部 真実・松宮 紘平

・愛知教育大学附属岡崎中学校

佐藤 裕一

・学校法人誠心学園 浜松開誠館中学校・高等学校

伊藤 亮

・愛知教育大学附属特別支援学校

好田 元希

11:20~11:50 事例発表者ディスカッション「学校現場でESDをより広めていくには」

司会 愛知教育大学 地域連携センター委員 田口 達也

11:50~12:00 閉会行事

総括 愛知教育大学 地域連携センター長 大鹿 聖公

名張市立薦原小学校

ユネスコスクール指導者研修会

地域とともに
持続可能な「ありがとう」の学校をめざして

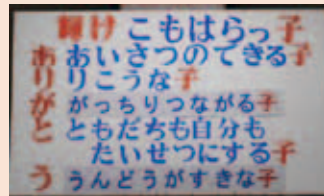


名張市立薦原小学校
令和5年8月21日

三重県名張市



こもはら 名張市立薦原小学校



持続可能な未来を拓く「ありがとう」の学校をつくる

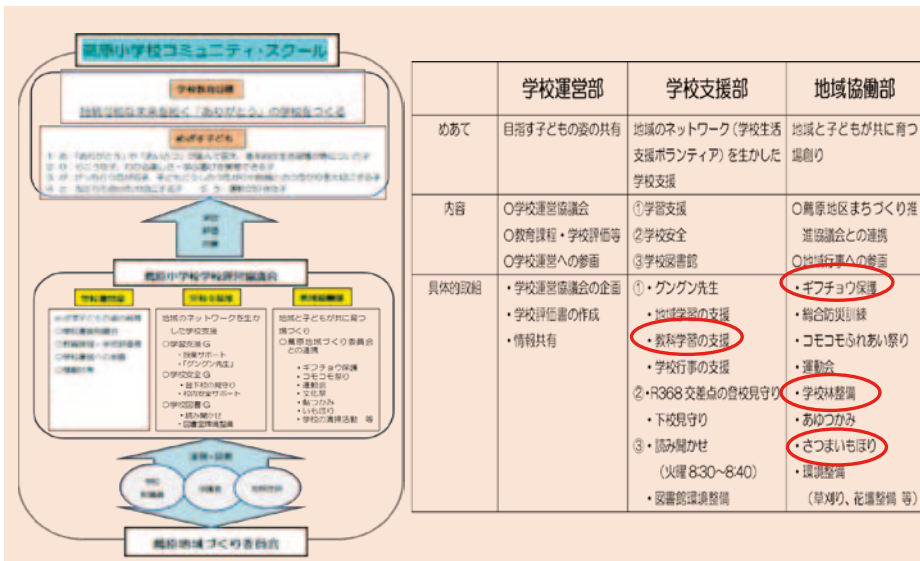


明治8年創設
児童数 101名

学校教育目標

持続可能な未来を拓く「ありがとう」の学校をつくる

- ①あ：「ありがとう」や「あいさつ」が進んで言え、基本的な生活習慣が身についた子
- ②り：りこうな子〈わかる楽しさ・学ぶ喜びを実感できる子〉
- ③が：がっちりつながる子〈子どもどうしのつながりや地域とのつながりを大切にする子〉
- ④と：友だちも自分も大切にする子
- ⑤う：運動がすきな子



ESDの実践にあたって

○どのように学ぶのか
○何ができるようになるのか
○どのように取り組むのか

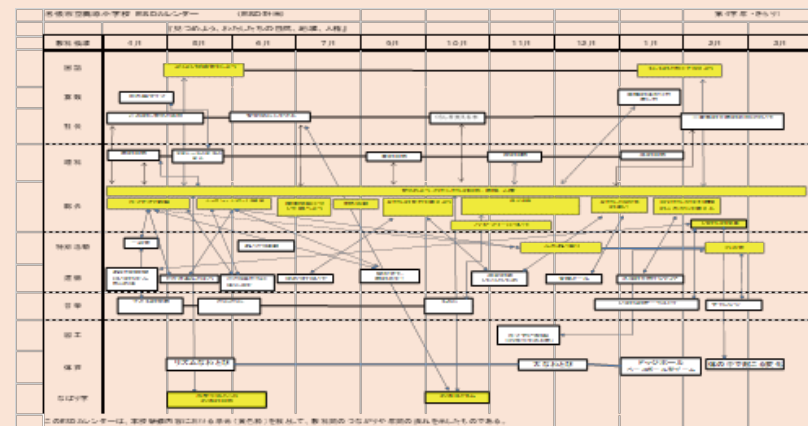
7つの能力・態度

1. 批判的に考える力
2. 未来像を予測して計画を立てる力
3. 多面的・総合的に考える力
4. コミュニケーションを行う力
5. 他者と協力する力
6. つながりを尊重する態度
7. 進んで参加する態度

ESD 各学年のテーマ

- 1年 「わたしだいすき、ともだちだいすき、がっこうだいすき」
- 2年 「わたしだいすき、ともだちだいすき、こもはらだいすき」
- 3年 「薦原の自然や人から学ぼう～体験、発見、学び合い」
- 4年 「見つめよう、わたしたちの自然、地域、人権」
- 5年 「わたしたちの住みよいくらしを考える」
- 6年 「伝えよう、わたしの未来、わたしたちの未来」

ESDカレンダー



1年

「わたしだいすき、
ともだちだいすき、
がっこうだいすき」

1年 学校林をたんけんしよう



2年 さつまいもを育てよう

2年

「わたしだいすき、
ともだちだいすき、
こもはらだいすき」



3年

「薦原の自然や人から学ぼう
～体験、発見、学び合い～」

3年 ニッポンハナダカバチを観察しよう



4年

「見つめよう、わたしたちの
自然、地域、人権」

4年 ギフチョウを守ろう

4月上旬
ギフチョウ観察会

三重県総合博物館
の出前授業

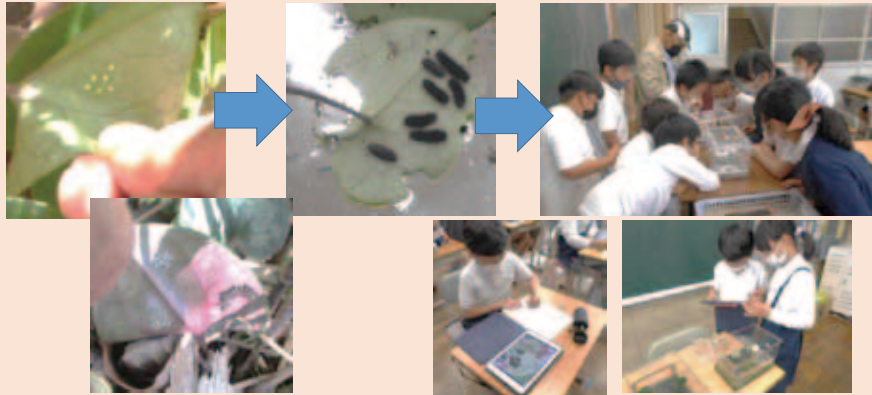
学校近くの里山に
観察に行きました。



4年 ギフチョウを守ろう

5月初旬 産卵調査

5月中旬 幼虫の観察



4年 ギフチョウを守ろう



4年 ギフチョウを守ろう

7月 蛹になったら...



4年 ギフチョウを守ろう

3月中旬 ギフチョウ羽化



4年 ギフチョウを守ろう

4月上旬 ギフチョウ学習会・観察会



5年

「わたしたちの住みよいくらしを考える」

5年 米作りを体験しよう



6年

「伝えよう、わたしの未来、
わたしたちの未来」

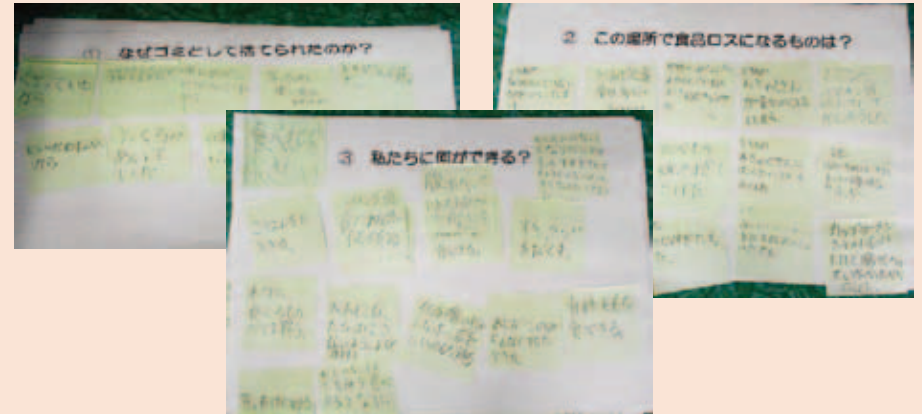
6年 SDGsをめざした取組をまとめよう



18 食品ロス



6年 SDGsをめざした取組をまとめよう



7

6年 SDGsをめざした取組をまとめよう



持続可能な学校をめざして・・・



子どもは、地域の宝だ。
子どもたちと関わることで元気をもらっている。
はげましの言葉をかけるようにしている。
子どもたちから話をしてくれるのがうれしい。
子どもたちのためだったら何でもするよ。
先生らがしてほしいこと、何でも言うてな。

ありがとうの会



持続可能な学校をめざして・・・

児童アンケート 「自分の住んでいる地域が好きだ」

98%

保護者アンケート 「学校は保護者・地域と作る教育活動を大事にしている」

100%



ご清聴ありがとうございました。



SDGs学習の取組

京都市立安朱小学校
服部 真実
松宮 紘平

京都市立 安朱小学校

- 京都市山科区【学級数】12学級
【児童数】228名
【教職員数】23名
- 公共交通機関...JR・京阪・地下鉄



琵琶湖疏水



毘沙門堂

R5年度 安朱小学校



《地域社会参画能力の育成》
…地域を愛し、
地域とともに歩む取組
(地域を見つめる学習の
充実、発展)

< 学校教育目標 >

育てよう **子どもの思い** **思いやり**
～めざす子ども像～

自ら学び 心豊かに 未来を創造する子

アクション
プラン

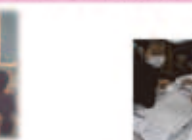
主体性

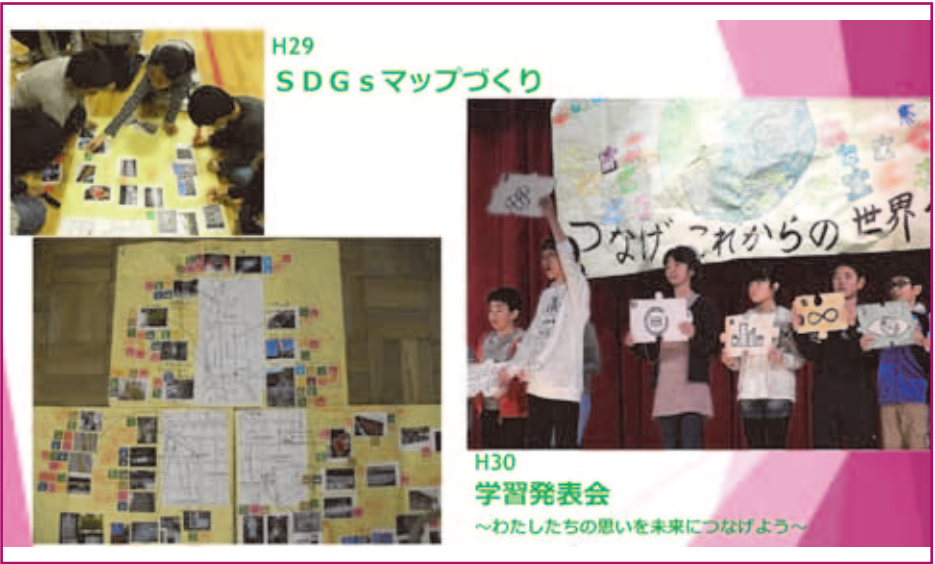
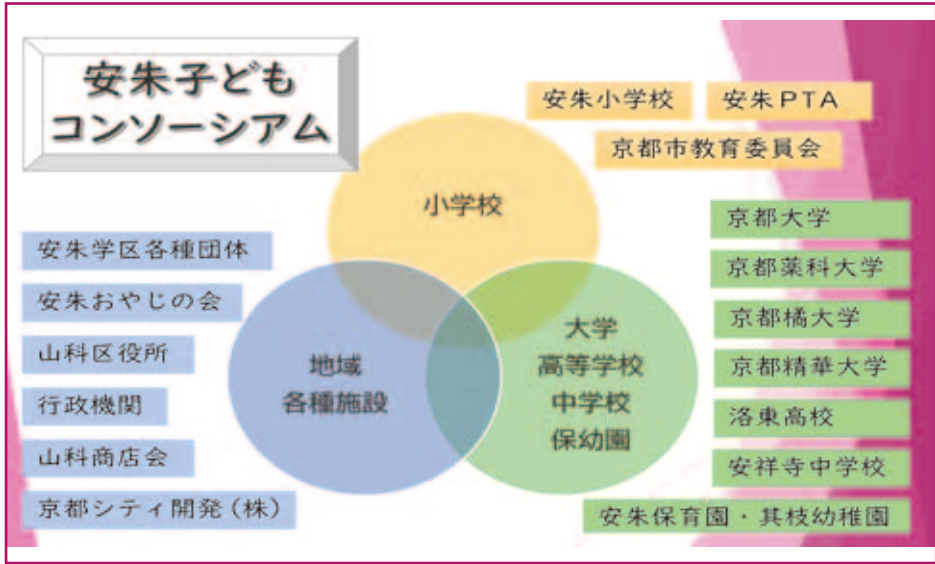
社会性

- 《確かな学力の育成》
…情報活用能力を育成する取組
- 《豊かな心の育成》
…自己肯定感・自己有用感を高める取組
- 《健やかな体の育成》
…自分の体や心を知り、
セルフコントロールできるようにする取組

R5年度 安朱小学校

《地域社会参画能力の育成》
…地域を愛し、地域とともに歩む取組
(地域を見つめる学習の充実、発展)





学習のきっかけ

▶ SDGsって何？

どんな意味？
何を表しているの？
自分たちとの関係は？



SDGsについて調べよう！

SDGs 17の目標を調べ交流する



難しい言葉は意味を
教えてもらいました。



今までにやってきてる
こともあるよね？



自分たちが
できそうなことは…。

京都市SDGsパートナーシップ協定

学校では、燃やすごみを
できるだけ減らせるように、
ごみの分別をしているよ。



「気ない
SDGsと
つながるんだな。」



調べ学習を進めて…

- ▶ SDGsについて理解が深まった
- ▶ 自分にできそうなことは
- ▶ 身近な地域ではどのような取組が
されているのか



持続可能な山科・安朱地域を目指して

協力してくださったお店

- ▶ 無印良品
- ▶ ユニクロ
- ▶ 山科食品（スーパー）
- ▶ 山科書店
- ▶ 葵餅（和菓子屋）
- ▶ 大西（漬物屋）
- ▶ ウオセ（鮮魚店）
- ▶ オザキヤ時計店
- ▶ イシダ洋品店
- ▶ 箸まめキューズイヌあずき（居酒屋）
- ▶ 炭火焼鳥くおくお（居酒屋）
- ▶ みやこ薬局
- ▶ タケムラ文具

インタビュー活動



お店との連携を考える



お店への提案



提案紹介

お店の取組の紹介ポスター



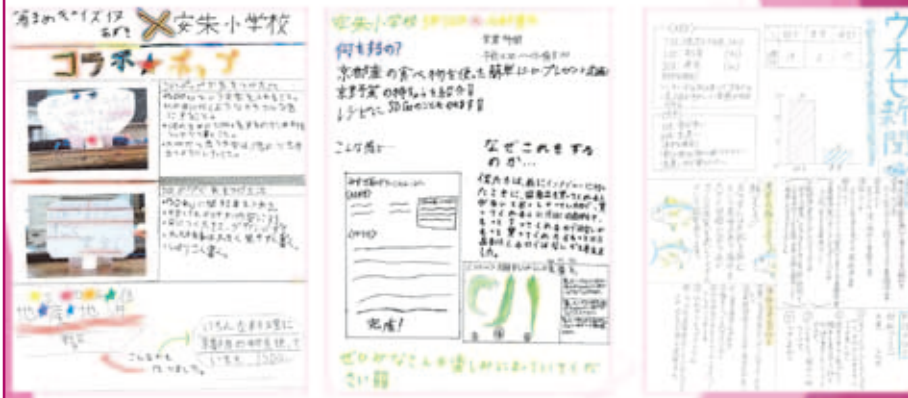
提案紹介

コラボ商品



提案紹介

お店に置いてもらうポップやチラシ



展示



発表



発表



発表



発表





愛知教育大学附属岡崎中学校

愛知県ユネスコスクール指導者研修会

本校のESD(持続可能な開発のための教育)活動 ー各教科の授業実践からー

ー愛知教育大学附属岡崎中学校ー

愛知教育大学附属岡崎中学校
教諭 佐藤 裕一

本校の授業研究

<本校の授業研究における土台>

◇生活教育

「子どもの生活に根ざし、生活の中から生き方を学ぶ」

◇問題解決的学習過程

・問題を見出す → 問題を解決する → 学びを生かす

<研究主題>

躍動

ー志をもって歩み続ける子どもー

3年生社会科「プラスチックとつくる未来」

<令和3年度～4年度>

3年生修学旅行 → 沖縄へ

学びのテーマをSDGsとする。



- ・ 海岸に落ちているプラスチックごみ
- ・ 現地の方が海の自然を守るための活動を行っていることを知る
→ プラスチックごみに関心を持ち、調べ始める

3年生社会科「プラスチックとつくる未来」

<子どもの気づき>

- ・ 環境破壊や生物への影響の深刻さ
- ・ 日本が様々な取組を行っている



- ・ 欧米とは事情が異なる日本では、
プラスチックごみを削減していくことが難しい

【問題】

日本はプラスチックゴミ削減をどのように進めるべきか

3年生社会科「プラスチックとつくる未来」

<追究>

- 行政：国が支援金や認証マークなどで支援している
- 作る人：タイヤを生分解可能な素材にできないか 代替素材は…
- 使う人：廃棄量を減らす取組をすべき 環境に配慮した物を購入



削減を進めるには、私たちの生活を変えるような
イノベーションや取組が必要だ
日本は行政や企業などの取組が整っているが、発信が不十分だ

日本の取組の効果やすべきことを伝えて、取組を推進したい

3年生社会科「プラスチックとつくる未来」

<行動>

- ・岡崎市役所への提案
- ・消費者の行動を変える啓発活動
→ 水族館への提案
- ・文化祭での発信活動



1年生社会科「実現 カーボンニュートラル」(世界の諸地域)

- ・環境に配慮した自動車は身近にどのくらい…?
- ・ハイブリッド車やPHEV車はよく見る
EV車をほとんど見かけないのはなぜか…?
- ・ヨーロッパの人々は環境への意識が高い
- ・EUや各国の規制は日本よりも厳しい
- ・地理的要因において異なる点が多い



日本はどのようにカーボンニュートラルを進めるべきだろうか

1年生社会科「実現 カーボンニュートラル」(世界の諸地域)

<追究>

- ・日本は火力発電に依存 … 発電の際の二酸化炭素排出が多い
- ・雇用を守ることも大切だが、環境への意識も高めるべき
- ・日本企業は水素を利用した燃料電池車を開発している
- ・バッテリーのリサイクルを進めているようだ



日本に合ったやり方でカーボンニュートラルを進めるべきだ
時間がかかっても、日本の技術力を生かしたカーボンニュートラルを進めるべきだ

2年生 技術・家庭科（技術分野）「Re: くびっタケ!？」（材料と加工の技術）

- ・ 自然体験活動で、竹を用いていかだを作成
- ・ 竹による害で生態系に影響を与えている
- ・ 竹が廃棄物として増加している
- ・ いかだで使用した竹も廃棄物…？
- ・ いかだで使用した竹をどうすればよいか
- ・ 校内のベンチが劣化してきている
- ・ ベンチ製作に竹を再利用できないだろうか
- ・ 丈夫なものにする必要がある
- ・ 背もたれがあるとよいが、接合が難しい



長い間使えるベンチにするには、どのように工夫すればよいか

2年生 技術・家庭科（技術分野）「Re: くびっタケ!？」（材料と加工の技術）

- ・ バーナーであぶるときれいになる
- ・ 適切な油抜きで耐久性が高まる
- ・ 竹の形状を加工し、板状の竹をはめ込むと丈夫になる
- ・ 結束バンドは劣化する 紐の縛り方を工夫すれば強度は高まる



下処理をした竹同士の接合方法を工夫し、竹以外の廃材も再利用すれば、長い間使えるベンチとなる

2年生 技術・家庭科（技術分野）「FOOD HUNTER X」(衣食住の生活)

- ・ タンパク質クライシスの資料
 - これからの食生活は大丈夫なのだろうか
- ・ 現状は、牛・豚・鶏の三大畜産に依存している
- ・ ジビエも食肉である
 - 重要なタンパク源の一つであるが、普及が進んでいない
- ・ ジビエの現状はどうなっているのだろうか
- ・ 実際に食べてみると、臭いや食感など、少しくせがある
- ・ 専門の解体施設があるようだ 食べられている部分も少ない
- ・ 猟師の数も減ってきていると聞いた



加工の難しさなどの課題が多いが、普及の意義は大きい。
ジビエがより食べられるようにするにはどうすればよいか

2年生 技術・家庭科（技術分野）「FOOD HUNTER X」(衣食住の生活)

- ・ 獣臭さは塩漬けにするとよい 肉質も柔らかくなった
- ・ 全ての猟師が獣害を起こす個体を狙っているわけではない
- ・ 血抜きを正しくできる人は少ない 支援が必要なのではないか



- ・ 食べることで、いのちをつないでいる。無駄にせず、大事にしたい
- ・ 関心をもつことが大切 人々の生活や自然を守る意義を伝えたい
- ・ ジビエを扱う機会を増やして、おいしさを味わえるようにしたい

ジビエについての考えを社会に発信したい



本校の研究の土台
 「生活教育」 「問題解決的学習過程」



本校の子どもが見出す疑問や問題
 持続可能な社会を創り出す志へとつながっていく



ご静聴ありがとうございました。

実践事例発表 浜松開誠館中学校高等学校

ユネスコグローバルSDGs推進課
課長 伊藤亮

浜松開誠館の学校方針

- 校訓「誠心敬愛」
- 教育理念「学校は正しく学ぶ場」
- 生徒数 中高合わせて約1200名
- “主体性”を育む教育



“主体性” 生徒の発信から学校が変わる

- ジェンダーレス制服
- カジュアルデー
- 校則改定



ESDへの取り組み

- SDGsを通じた学び
中学校 「総合的な学習の時間」にSDGs学習を導入
高等学校 「総合的な探究の時間」にSDGs学習を導入
- 全校生徒にSDGsに関するイベント等を随時紹介
あくまで生徒の主体性に任せて選択させる

気候マーチ

- 生徒からの発信+学校がサポート
- 最大約800人で実施
- 令和元年の「環境白書」に記載
- 合計5回実施（コロナ禍は校内実施）



気候マーチ



オンライン気候サミットの実施

- オンラインで気候変動について考えるオンライン気候サミットを実施
- 国内外約10校が参加
- 国立環境研究所の江守正多先生や気候ネットワークの田浦健朗先生が講演



フェアトレード商品を文化祭で販売



開誠館SDGs部×豆乃木 コラボ オリジナルドリップコーヒーを作成、販売



学校マイボトルの作成

- 生徒デザインの開誠館マイボトルを作成し、校内販売
- マイボトルを有効活用するために校舎各階にウォーターサーバーを設置



フードドライブ

- 有志生徒が、全校に発信して食品等を回収
- 浜松市社会福祉協議会を通じて寄付



制服アップサイクル

- 制服の販売会社と生徒がコラボレーション
- 卒業式に希望者から制服を回収し、自動車の内装材としてアップサイクル（別の商品として使用）
- 2022年度は約50着回収



小中学校へ生徒が出張授業

- 小中学校からの依頼を受けて、本校高校生がSDGs普及のために出張して授業を行った
- 小学生にもわかるように簡単なクイズなどを取り入れて児童参加型の授業を実施



TFT寄付型自販機

- 学校設定科目「Global Issues」にて生徒が貧困について学習し、生徒でもできる活動を考えて
- Table for Twoの寄付型自販機を設置
- 購入費の一部が、発展途上国の学校給食費として寄付される仕組み



現状の課題

- 生徒の主体性に任せているため、全体への広がりが乏しい
- ESDに対する教員の意識をより向上し、探求に結び付ける必要がある



開誠館SDGs部 Instagram も
ぜひ見てください！

アカウント： @ksk.0920

「開誠館SDGs部」で検索



愛知県ユネスコスクール指導者研修会

実践事例報告

特別支援学校が取り組む
SDGsを取り入れたESD



愛知教育大学附属特別支援学校
好田 元希

愛知教育大学附属特別支援学校



岡崎市

知的障がいの子どもの対象

愛知教育大学附属特別支援学校

小学部(16名)

中学部(12名)

高等部(30名)



愛知教育大学附属特別支援学校



創立57周年

マスコットキャラクター



クジャク



ピーコ

SDGsを取り入れたESDについて

ESD

持続可能な社会づくりの
担い手を育む教育

共生社会の実現

障がいの有無にかかわらず、すべての人が
お互いを認め、敬い、支え合い、誰もが
生き生きとした人生を送ることができる社会



ESD

持続可能な社会づくりの
担い手を育む教育

「コミュニケーションを行う力」

「他者と協力する力」

障がい者 「つながりを尊重する態度」

自立した生活
社会参加の実現

支え 主を
子どもを取り巻く
環境の変化



Sustainable Development Goals



SDGsの3つの目標を取り入れたESDの推進



ESD 持続可能な社会づくりの
担い手を育む教育

共生社会の実現

障がいの有無にかかわらず、すべての人が
お互いを認め、敬い、支え合い、誰もが
生き生きとした人生を送ることができる社会

SDGsの3つの目標を取り入れたESDの推進



総合的な探求の時間 における実践



達成目標

2030年までに、教育を受けるすべての人が、
持続可能な社会をつかっていくために必要な
知識や技術を身につけられるようにする。
(後略)

高等部2年生
総合的な探求の時間



単元名

『広げよう ぼくらのSDGs
～すごしやすい学校づくり～』

総合的な探求の時間における実践

学校生活の困りごとを話し合う



総合的な探求の時間における実践

あるグループでの意見

問題点

作戦

・体育館入り口の
段差が不便

・周りの人に
助けてもらう
・人に声をかける

・教室の外へ出る
出入口がせまい

・ものを少なくする

・歩行器のタイヤが
鉄板にはまってしまう

・平らにする
・先生に相談

総合的な探求の時間における実践

実際の取り組み

・歩行器のタイヤが
鉄板にはまってしまう

・平らにする
・先生に相談



総合的な探求の時間における実践



地域の学校 との交流

10 人や国の不平等
をなくそう



達成目標

2030年までに、年齢、性別、障がい、人種、民族、生まれ、宗教、経済状態などにかかわらず、**すべての人が、能力を高め、社会的、経済的、政治的に取り残されないようにすすめる。**

地域の学校との交流



附属岡崎小学校との交流



つるさし
運動会練習の見学
いもほり
収穫祭
プログラム交換

附属岡崎小学校との交流

共生教育



・障がいとは何か、どのように接するとよいか

附属岡崎小学校との交流

いものつるさし



附属岡崎小学校との交流

小学生が考えた遊びで交流



附属岡崎小学校との交流

小学生からお礼の手紙



附属岡崎小学校との交流

お礼の手紙を渡す



附属岡崎小学校との交流

いもの水やり



附属岡崎小学校との交流

今後の予定

いもほり



収穫祭



附属岡崎中学校との交流

作業製品の販売



附属岡崎中学校
との交流

附属岡崎中学校との交流

作業製品の販売



附属高等学校
との交流

附属高等学校との交流

高校生実習



岡崎市立梅園小学校
との交流

梅園小学校との交流

梅園クリーン作戦



地域との つながり



達成目標

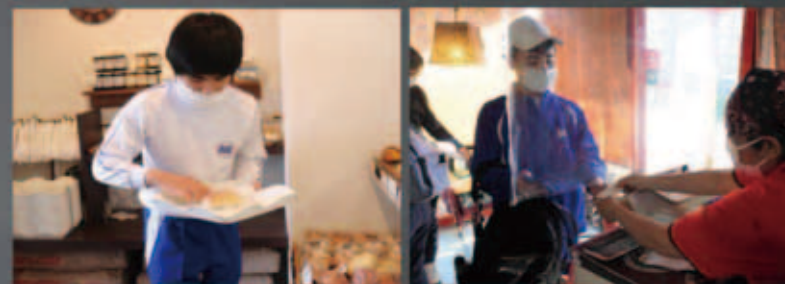
2030年までに、だれも取り残さない持続可能なまちづくりをすすめる。すべての国で、だれもが参加できる形で持続可能なまちづくりを計画し実行できるような能力を高める。



買い物・外食学習

地域とのつながり

買い物・外食学習



パン屋「パンナ」

インドカレー「カルパナ」

地域とのつながり

外食学習



喫茶「天」



地域とのつながり

作業製品の常駐販売



和菓子屋「小野玉川堂」との コラボレーション

地域とのつながり

小野玉川堂とのコラボレーション



地域とのつながり

子どもたちの作品がどら焼きのパッケージに



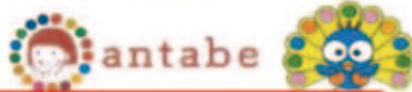
地域とのつながり

小野玉川堂で買い物学習



地域とのつながり

小野玉川堂もSDGs



SDGs 達成に向けた取り組みを
行っています

地域とのつながり

半永久的な取り組み

岡崎市障がい福祉課へ寄付


購入者



お店



11 連携する
大学が
つくる



愛知教育大学との連携

愛知教育大学との連携

介護等体験実習



愛知教育大学との連携

高等部の大学訪問



愛知教育大学との連携

中学部の大学訪問



愛知教育大学との連携

中学部の大学訪問



愛知教育大学との連携

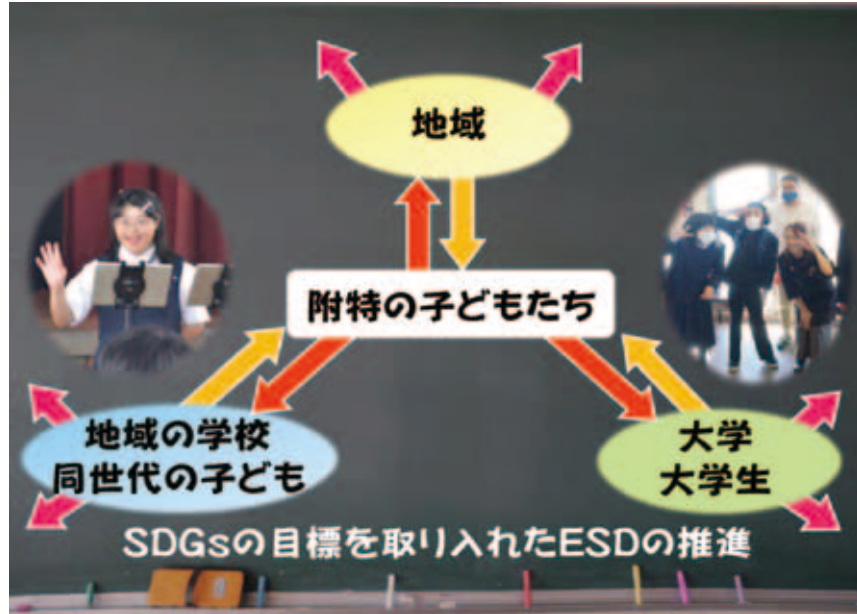
大学ダンスサークルとの交流



愛知教育大学との連携

附属学校のメリットをいかす







国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION